「私の仕事」

情報戦略局デジタル政策課
小海途 悠真 さん（事務職）

入庁以来、法定受託事務に従事し、市民の困り事に寄り添う仕事に携わってきましたが、今春、新しい事業に取り組む部署に異動しました。不安もありますが、大学時代に学んだことを生かして、人に感謝されるような仕事をしていきたいと考えています。

採用：平成29年度

配属歴

平成29年	健康福祉部生活支援課
令和3年	情報戦略局デジタル政策課

市役所・市民サービスのデジタル化

国のデジタル改革への対応や、行政手続きなどのデジタル化を進めるため、今年（令和3年）4月に組織改編で誕生した「デジタル政策課」に配属されました。デジタル政策課の業務は、市民の皆さんと、直接、接することは少ないですが、デジタルを活用した、市民サービスの向上を目指しています。

私は、伊勢市公式LINEのチャットボット開発などを担当し、さまざまな部署と連携しながら、市役所のデジタル活用に取り組んでいます。このため、デジタルに関する自分の知識を深めることが必要と考え、自己研さんとして、ITに関する資格取得も目指しています。今後、さまざまな研修を積極的に受講して、知識を得ることで、頼られるような人材になりたいと思います。

答えられる知識を身に付けたい

人と関わることが好きなので、窓口業務を希望し、入庁しました。市民と直接関わる仕事は、対応が多岐にわたり、困難なことや悩むこともあります。思い描いていたものとは違いましたが、市役所の仕事は、生活に身近なことばかりで、市民や友人から尋ねられることも多いため、その際に、しっかりとした知識で、答えられるようにしたいと思っています。

休暇・休日

土日休みが基本であるため、計画的にプライベートを充実させることができます。上司も年休を取得するように案内してくれたり、休んだときには、同僚がフォローしてくれたりと、気兼ねなく取得することができます。

市職員に必要なこと

コミュニケーションを取れることが大切だと思います。人脈は財産であり、知見を広めたり、働きやすい職場にしたりと、何かと役に立ちます。

職場「あるある」を聞いてみました

●業務でよく使う言葉を日常会話でも使用してしまいがち
●異動したばかりでも、所属業務の全般を知っていると思われがち

市役所の業務は多岐にわたり、それぞれの性質も違います。人には、向き・不向きがありますが、必ず、自分に向いている部署を見つけることができると思います。1・2回部署を変わっただけで「市役所で働くのは向いていない」「自分は仕事ができない」と後ろ向きにならないでほしいです。

また、自身の生活に密着していることばかりですので、どの部署に配属になっても、私生活に役立つと思います。

受験を考えている人へのメッセージ

市役所は、伊勢市のまちづくりに密着した仕事ができます。「今住んでいる」「これから住むかもしれない」私たち自身のまち、伊勢市をより良くするために、一緒にがんばりましょう。

発行：伊勢市総務部職員課